

ICT活用

妹尾小学校

図を組み立てることもできるよ!

テキスト入力はもちろん、図形を組み立てることも可能。画面は登場人物の関係図を用いて考えを深めている様子。

子どもたちもどんどん積極的に!



▲回答が大型モニターで、全員の考えが共有されている様子。手元の端末にも表示されます。

児童の声

いろいろな人の意見を見ることができると、友達の良いところを参考にでき、たくさん自分の意見があります。また、友達とのやりとりも増えたので、楽しく学べるようになりました。



妹尾小学校 6年生 倉ヶ市 樹生さん

児童の声

たくさんの意見を知ることができます。自分の意見と比べて、どこが同じ、違うところを見つけてあげることができてすごいです。ノートの勉強も好きだけど、ノートだと先生に提出した後に見返さなければ、端末だと先生も自分も見られて、いつでも授業を思い出せるから、私は端末を使った授業が好きです。



妹尾小学校 6年生 中山 花穂さん

先生の声

ICTを活用すると、事前にみんなの考えや学習状況を確認できるので、「あ、この子に」と目星をつけやすかったり、「行き詰っているのかな?」と声かけがしやすくなったと感じています。また子どもたちは、友達の考えと比べることができるので、自分の考えを広げ、様々な意見が出せるようになりました。



妹尾小学校 教諭 竹井 美咲さん

参加された先生の声

一人一人の意見が一度に集まり、共有できるのが素晴らしいなと思いました。学び方に、決まりやルールはない、同じ方法をやってもうまくいかないこともあるけれど、先生が方法を提案するだけではなく、子どもたちが自分で選んで共有できるのは、とてもいいなと思います。



妹尾小学校 教諭 栢野 健一さん

子どもたちが主体的に学習に取り組むためのツールとして「授業支援ソフト」の活用



令和6年4月に岡山市立小・中学校に共通の「授業支援ソフト」が導入された妹尾小学校では、6年生、国語「風切るつばさ」を題材に、ソフトを活用した公開授業が実施されました。子どもたちは、物語の登場人物の心情や山場を理解するために、①登場人物になりきった日記の作成、②演技、③登場人物の関係図からの考察の3つの方法から自分で選んで取り組み、考えを深め、ソフトの考えを可視化して相互評価をする機能を使って発表しました。ソフトの機能を活

用すると、個人の考えを教室の大型モニターやそれぞれの端末で表示されるのももちろん、クラス全員の考えも一瞥で共有できるので、短い時間で友達の考えを知り、自分の考えと比べたり自分の考えに取り入れられたりすることで考えを深めることができます。また、先生は子どもたちの学習状況を端末を通して把握しやすくなるので、適々の進捗を確認しながら適切にフォローすることができ、授業では、課題解決に向けて子どもたちが主体的に考え、意見交換している姿が見られました。

授業づくり

公開授業後の先生による研究協議会より良い授業を目指して

国語の公開授業を受け、同じ中学校区の先生が集まり、研究協議会が開かれました。効果的な指導方法や子どもたちへの支援などについて、校種を超えて熱心な意見交換が行われました。学校では、公開授業後は、毎回このような研究協議会を行っており、今後の授業づくりに役立てています。



▲参加した先生方による意見交換以外に、授業をした先生の振り返りや教育研究研修センターの講師による助言もありました。

好奇心を

大きなエネルギーにつなげるために!

新しいことにチャレンジする「好奇心」をどんどん膨らませ、自分で考え行動できる力を身につけよう!

「やる気につながる好奇心」を育てるために、ICTを取り入れた授業づくりや研究会を行い、より良い教育活動を推進。体育祭などを通じた仲間づくりや国際交流等の学校行事にも力を入れています。

好奇心

やる気

仲間づくり

ICT活用

授業づくり

今回も子どもたちのたくさんの笑顔に出会えたよ!子どもたちが夢や希望を持って成長していけるよう、これからも学校、家庭、地域社会で協働して取り組みたいね!

岡山後楽館中学校・高等学校



作戦を練ってスタート!



中・高「棒持ちリレー」

生徒の声

中・高合同の体育祭は、みんなが団結してとても楽しいです。高校生の方たちが積極的に声をかけてくれたり、応援をしたりして、こちらも嬉しくなりました。たくさんの準備や練習をした応援合戦では、みんな笑顔で今まで一番の演技ができて大成功でした。

後楽館中学校 3年生 石岡 琉乃彩さん(右) 浦山 祐美恵さん(左)



たくさん練習を重ねたよ!

生徒の声

みんなで応援したり、盛り上げたり、中・高校生がお互いに仲良くなれるのは後楽館ならではです。大会では、みんな足が早い!あの子はダンスが上手だな!こういう子が中学校にいるんだ、このクラスはこんな雰囲気なんだ等のたくさんの発見があり、嬉しいです。一生懸命準備してきたので、とても達成感があります。いい思い出になりました。

後楽館高等学校 3年生 実行委員長 長吉 孝海さん



中・高「応援合戦」

歓迎セレモニー



友達のかわいさ姿が誇りだったよ!

山南学園

岡山県初の義務教育学校として、令和4年に開校した岡山市立山南学園。今年5月に、岡山市の姉妹都市である台湾の新竹市から「培英国民中学」の3年生約40名が、代表者を訪ねました。記念式典では、各校全員で「It's a Small World」を合唱するなど、盛大なセレモニーとなりました。交流授業では、各クラスごとに企画し、6年A組では「一緒に折り紙を折ったり、培英中学からパソコン映像で自己紹介と台湾のクイズ」を行うなど、みんなで楽しく



クラス交流 折り紙をみんなで作ったよ!



ランチタイム 一緒に授業を受けたり、給食を食べてましたよ!

先生の声

両校で歌った「It's a small world」も朝の会で毎日歌っていました。クラス交流では、日本の文化で何が伝えやすくして交流しやすいかを子どもたちと一緒に考えて「折り紙」にしました。事前に、クラスで折り紙をやってみた時には、知らない子もたくさんいたので、友達同士で教えていました。交流のための準備ではありましたが、自分たちの交流にもなりました。

山南学園 教諭 守谷 江里子さん

児童の声

授業で習った英語で実際に会話してみると、伝えるのが難しいところもありました。相手の言葉を聞くと、思っていた発音とは、違うところもあって、面白いなと思いました。折り紙を折るのがとても上手くて早かったので「ナイス!」など、声をかけました。クイズは難しかったけど、台湾は楽しそうだな、行ってみたいなと思いました。

山南学園 6年生 梅原 晴音さん

仲間づくり

学年を超えた結束、中・高等学校の合同体育祭

台湾の「培英国民中学」と国際交流会

みんなで何かを達成できると友達との関係も深まって、楽しい時間も増えるよ。お互いの気持ちも理解できるから、仲間との時間はすごく大切なんだ。

